



木曜会

藤原 理恵

「木曜会」と聞いても、受講生の方には余り耳馴染みが無いかも知れません。名前のおり、毎月第3～5の木曜日午前中に開催されている勉強会のことです。

私がこの会に参加するようになって少し経った頃、「木曜会は、いっちきち もんちきち するところ」というキャッチフレーズが付きまして。

伝えること／伝わることの難しさ、当事者・利用者にとってのベストを追求し、さまざまなことをメンバー同士で話し合い、考えながら要約筆記という通訳者で在り続けるため、「いっちきち もんちきち」愉しく学んでいます。

そのための教材を毎回提供して下さるのが、講師をはじめとした大先輩たちです。長い経験が在るからこそ的確な指摘、そして助言の数々。講座で学ぶだけでは解りようのなかったことも、ここでは実践的に学べます。

受講生の皆様の中には、講座だけで手一杯とおっしゃる方も多いと思います。が、終了後のモチベーションを保つため、今のうちにぜひ一度、木曜会を覗いてみて下さい。

「愛」があふれるメンバーたちの、ざっくばらんに学ぶ姿を見てもらえば、要約筆記のイメージが今とは少し違ってくると思いますよ。見学大歓迎、お待ちしております。

やまもも会員
8月現在 48名
(内 賛助会員7名)

<目次>

- 1面 木曜会 (藤原理恵)
- 2面 養成講座特集
- 3面 読書(竹田美耶) 近況(安部いずみ)
- 4面 活動報告予定

ホームページ：<http://yamamomo-kochi.sakura.ne.jp/>

TEL：088-879-5534 FAX：088-866-9755 e-mail：yoyaku.kouchi@gmail.com

Twitter：@yoyaku_y Facebook：yoyaku.y Instagram：yoyaku.y

養成講座特集

受講生の声を紹介します。

「講座を受講して」

M. O

偶然見た CM がきっかけで、要約筆記について調べていくうちに、チャレンジしてみたいという思いが強くなり受講申し込みをしました。

講義では要約筆記の奥深さなどを知ることができています。たくさんの知識や技術習得は大変ですが、最後までやり切りたいと思っています。

この先、誰かの役に立つことができるよう、試験合格を目標にこれからも頑張ります。

「講座を受講したきっかけ」

T. T

子供たちが手を離れたことがきっかけで、何か始めようかと思っていたところ、ラジオから「要約筆記」という言葉が聞こえてきました。

誰かの役に立ちたい！というわけではなく、なんとなく受講してみたというのが、正直なところでした。

仕事をするうえで、分かりやすく説明したり、簡潔に話したりすることが苦手なので、「要約筆記」を学ぶことで、少しは上手くなるかな…とも思っています。ただ、受講が進むにつれ想像以上に難しいし、暗記力も若いころに比べ、確実に落ちているため、試験への不安もかなりあります。ですが、なんとか最後まで頑張りたいと思っています。

「講座を受講したきっかけ」

T. S

自分は介護支援専門員をしています。障害サービスを受けている方で介護サービスが必要なかた、65歳になれば介護保険の支援に移行することになり、目や耳が不自由な方を担当する機会が増えてきました。

切れ目のないサービス移行といわれていますが、耳が不自由な人＝手話がコミュニケーション手段だと思っていた私は、手話奉仕員養成講座を受講していました。

しかし、中途難聴者・高齢者難聴だと手話を習う機会がない、手話が使えない人がいることを知り……、いやむしろ、耳が聞こえなくて手話が使えない人のほうが多いのでは。

要約筆記者という資格があることを知りました。介護福祉の仕事をして20年知らなかったのです。

しかし、要約筆記を調べていくと、話していることをそのまま書き起こすのではなく、要約するルールや技術でより簡素に内容が伝わる、単にメモ書きではない「要約筆記」。

これは耳が不自由な人だけでなく、伝え間違いなどを防止することも、記録する書類が多い私にとっては、身につけたいスキルだと思いました。

「要約筆記講座を受講して」

R. S

私は、テレビから流れてきた「要約筆記」という言葉に何となく惹かれ、詳しい内容を知らないまま事前説明会に参加し、そこで受講期間の長さや合格率の低さをはじめで知りました。これはなかなか厳しいな、辞めようかなとも思いましたが、自分の直感を信じ、受講を決めました。

実際に受講をしてみて、自分の日本語の知識のなさや話をまとめる事・パソコン入力など上手くいかないことが多く、軽く落ち込みますが、少しでも誰かの役に立てる日がくればとの思いで頑張っていこうと思います。

※希望者がいらっしゃいましたので、すべてイニシャル掲載としました。



『 風をとおすレッスン 人と人のあいだ 』

著者：田中 真知 発行：創元社

竹田 美耶

この本は書店で偶然見つけた。「あいだで考える」というシリーズ物の1冊で、テーマに惹かれ、足を止めたのが手に取ったきっかけだ。5冊くらいある中で、この本を手にとった。タイトルや帯に書かれた「風をとおす」という言葉の軽やかさに惹かれた。

本の内容は、旅好きな著者が旅や戯曲など多くの書物を通して、あるいは日常の気づきの中で、他者との関わりや自分との関係を考察している。

独りでは生きていけないが、他者と常に繋がっているとふと疲れてしまう時がある。そんな時、筆者は繋がりを緩めることを提案している。その為に立ち返るのは自分自身との向き合い方。自分という存在は決して離れる事のできない存在でありながらも、自分の気持ちを俯瞰的に見つめ、他者との付き合い方にも変化が生まれてくる。他人と接するときには自分のフィルターで相手を見たり、自分自身の気持ちや考えに縛られたりする。他者を見つめる前にまず自分を見つめ、軽やかに過ごしたいと思った。



『 悪いことはせられん 』

安部 いずみ

高知は狭いけん悪いことはせられん・とよく言われますし、実感としてありましたが、日本列島レベルで同じことが起こると、さすがに驚いた～！というお話です。

東京在住の娘の夫(岩手出身)の大学時代の友人(京都出身)のお母様が高知出身だったという事実。さらに珍しい姓だったため、よくよく聞いてみると、私はそのお兄様(娘>夫>友人>伯父)と名刺交換をしており、保管していた名刺を見つけた時は、ちょっと震えました。

もうひとつ。私には大好きなミュージシャンがいるのですが、彼が共演した尺八奏者・と共演したお箏奏者・と、私は共演経験があるのです。この間接共演に気付いた時はかなり舞い上がりましたね。日本の音楽業界も意外と狭いのかもかもしれません。(いや、決してそんなことはない笑)

思えば、要約筆記に誘ってくれたのは会社の先輩であり、ここで知り合った仲間の御縁でまた新たな出会いがあり…と人の繋がりが、私を導いてくれました。悪いことはせられんけれど、臆することなく、あと残り三分の一?の人生、今後もあちこち顔を出してまいります。

6年8月活動予定

日・曜	会合名	時間	場所
3日(土)	要約筆記者養成講座 13回 理事例会	9:30~12:30	高知市障害者福祉センター
		13:30~15:30	高知市障害者福祉センター
4日(木)	要約筆記者現任研修	9:30~12:30	四万十町役場東庁舎
15日(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
17日(土)	要約筆記者養成講座 14回 合同勉強会	9:30~12:30	高知市障害者福祉センター
		13:30~15:30	高知市障害者福祉センター
21日(水)	香南市人権教育研究大会	9:30~11:40	のいちふれあいセンター
22日(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
24日(土)	パソコン勉強会	20:00~21:30	Zoom
25日(日)	要約筆記者養成講座 15回	9:30~12:30	高知市障害者福祉センター
29日(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
31日(土)	要約筆記者養成講座 16回	9:30~12:30	高知市障害者福祉センター

6年7月活動追加

日・曜	会合名	時間	場所
	なし		

<理事例会だより>

- ・「災害時・緊急時における障害者等の利便増進に資する ICT 機器等の活用推進ガイド」をサークルスクエアに UP しましたので、ぜひご覧ください。

理事例会等開催予定

	月日	時間	場所
9月理事例会	9月7日(土)	13:30~15:30	高知市障害者福祉センター

Amazon アソシイトのお願い

パソコンやスマホでやまももの HP にアクセスし、一番下までスクロールすると右図のような Amazon のバナーが出てきます。

これをクリックして購入すると、やまももへ広告料収入が入ります。購入金額には影響ありませんので、ご協力をお願いします。



「要約筆記者倫理綱領」に基づき利用者の権利擁護、通訳現場における守秘義務を遵守し、活動します。

平成27年9月17日
要約筆記 高知・やまもも

<高知県下の要約筆記者サークル>
四万十市/そよかぜ、赤とんぼ 宿毛市/さくら 日高村/エコー 四万十町/コスモス

※Amazonアソシイトについて

検索

検索...



【 編集雑感 】「災害級の暑さ」この言葉は、2018年の流行語大賞トップテンに入ったそうです。今年も連日のようにアラートが発表され、災害並みに危険な暑さが続いています。皆さまもどうぞ熱中症の予防に心がけてください。